

(環境) 常磐小学校 4年

## 青木川をきれいにするために

5月～2月(70時間)

### 1 ねらい

本校には「入ノ谷」の地名が示すように、青木川がつくりだした谷の入口にある。校庭にはサルやイノシシなどの動物が表れ、駐車場でホタルを見かけるほど自然豊かなところである。理科「季節と生き物」の学習やアゲハチョウの飼育活動の様子からも、生き物に対する興味関心が高く、生き物を大切にしようとする心は育っていると感じている。しかし、環境を守るための行動にはつながっていない。

自然豊かな学区に誇りをもち、環境を守ろうとする意識を育て、行動を起こすきっかけにすることをねらって本実践に取り組んだ。

### 2 実践の概要

#### (1) 願いを持たせる「アユの放流」

毎年学区の方々が行っている「アユの放流」に参加させていただいた。バケツの中から泳ぎ出す稚魚に向かって「大きくなってね」「また、ここへ帰って来てね」と言葉をかける子もいた。その後、アユがちゃんと育っているかを気にする子供たちの声を受けて、「青木川をきれいにするために」というテーマを設定した。まず、テーマに対して、個々の疑問やこだわりを集約しグループを作った。できたグループは右のとおりである。

#### 【グループ課題】

- ①「生活排水調べ」
- ②「水質調べ」
- ③「ごみ箱・看板」
- ④「チラシ・ポスター」
- ⑤「ごみの量や種類調べ」
- ⑥「魚のすみかを作る」

#### 【教師の支援】

アユの放流は地域の方々の行事であるが、その行事に参加させていただき、一人一人の手によってアユの稚魚を放流した。そうすることでアユの成長を願う気持ちが持てるようになり、その願いが活動を支える原動力になると考えた。

#### (2) 川の現状を知る指標生物調べ

アユの観察をかねて、青木川のごみ拾いを行った。ビニールごみや機械の部品、空き缶など、ビニール袋2つ分のごみを拾うことができた。きれいに見えていた青木川だったが、草の陰に隠れて意外にごみが多いことが分かった。

その後、岡崎市の環境課に依頼し、指標生物による水質調査を行った。その結果、青木川の水が、4段階のうち上から2番目のきれいさであることが分かった。安心するとともに、子供たちの意識が「青木川は、きれいなんだ」という方向に傾いた。

#### 【教師の支援】

「きれい」と判定されたことにより、テーマに対する切実感が薄れていくように感じた。子供たちに、青木川をきれいにするために行動を起こさねば、という気持ちを持たせるために、生活排水が流れ込んでいる実態を知らせる必要があると考えた。そこで生活排水グループに付き添い、青木川に流れ込む排水口に注目させた。パックテス

トの方法も知らせ、調べたことを地図にまとめるようにした。

### (3) 生活排水グループによる発表

一見きれいに見える川のあちらこちらから、油の混じった水や、臭いのある水が流れ込んできている現状を知り、今まではごみを拾えばよいと思っていた程度だったが、実は生活の仕方を考え直さなければいけないことに気付くことができた。

授業後の感想の中に次のようなものがあった。「パックテストの結果は正しいと思う。でも、そんな汚い川に魚が住めるわけがないので、川全体はまだきれいなんだと思う。でも、これからもっと生活排水が増えると、青木川は魚がいなくなってしまうから、やっぱり、みんなできれいにする方法を考えていかなくていけないと思う」

### (4) グループ活動

他のグループとかかわり合うことで、当初設定したグループ課題を、修正するグループも出てきた。「チラシ・ポスター」グループは、ポイ捨てを禁止するポスター等を作成する計画であったが、「生活排水」グループの発表を聞くことで、生活排水を浄化させる方法を調べ、それを訴えるポスターを作成することに変更した。また、「魚のすみか作り」グループも、場所を選ぶことも活動の中に取り入れた。

## 2 実践を振り返って

活動の過程で、「青木川はきれい」と判断することもあったが、友達の発表や話し合いから、青木川は「きれい」ではないのかもしれないという思いを強め、切実感をもって、青木川をきれいにする活動をスタートさせることができた。

反省としては、グループの発表を理解することが難しかったことが挙げられる。より深い話し合いするためには、初めの計画や途中経過を伝えあう場を設けたり、あらかじめ、教室に発表内容を掲示したりする必要があった。

また、青木川に対する学区の人の思いを聞き取ったり、生活排水を調べたりする活動は、クラス全体で行った方がよかったと反省している。そうすることで、共通の土台の上で、多様な活動に取り組めるし、グループ相互のかかわりの場も増えたのではないかと思う。

本実践を通して、ふるさと常磐への愛着を一層強くするとともに、学区の一員としての自覚を強め、地域の活動にかかわっていけるようになることを期待したい。



### 【生活排水グループの発表内容：】

#### ①聞き取り調査から

おじいさんの話では、昔は川で泳げるほどきれいだった。

#### ②パックテストの結果から

A地点 市民ホーム COD6

B地点 アユの放流場所 COD8

C地点 滝山寺 COD8

D地点 油だまり COD8

#### ③現地観察から

・ A地点：見た目はきれいだった。

・ D地点の水はオレンジ色になっていて、臭かった。